

Smile & Heart

浜田医療センター情報誌 **スマイル&ハート** vol.64

TAKE FREE

ご自由にお持ち帰り
ください
2023年
秋冬合併号

ホームページ <https://hamada.hosp.go.jp/>
Facebook <https://www.facebook.com/hamadamedicalcenter>
 [浜田医療センター](#) で検索！

中四国MISt研究会発表

学会発表

市民公開講座の再開！

1日看護体験・新任医師紹介

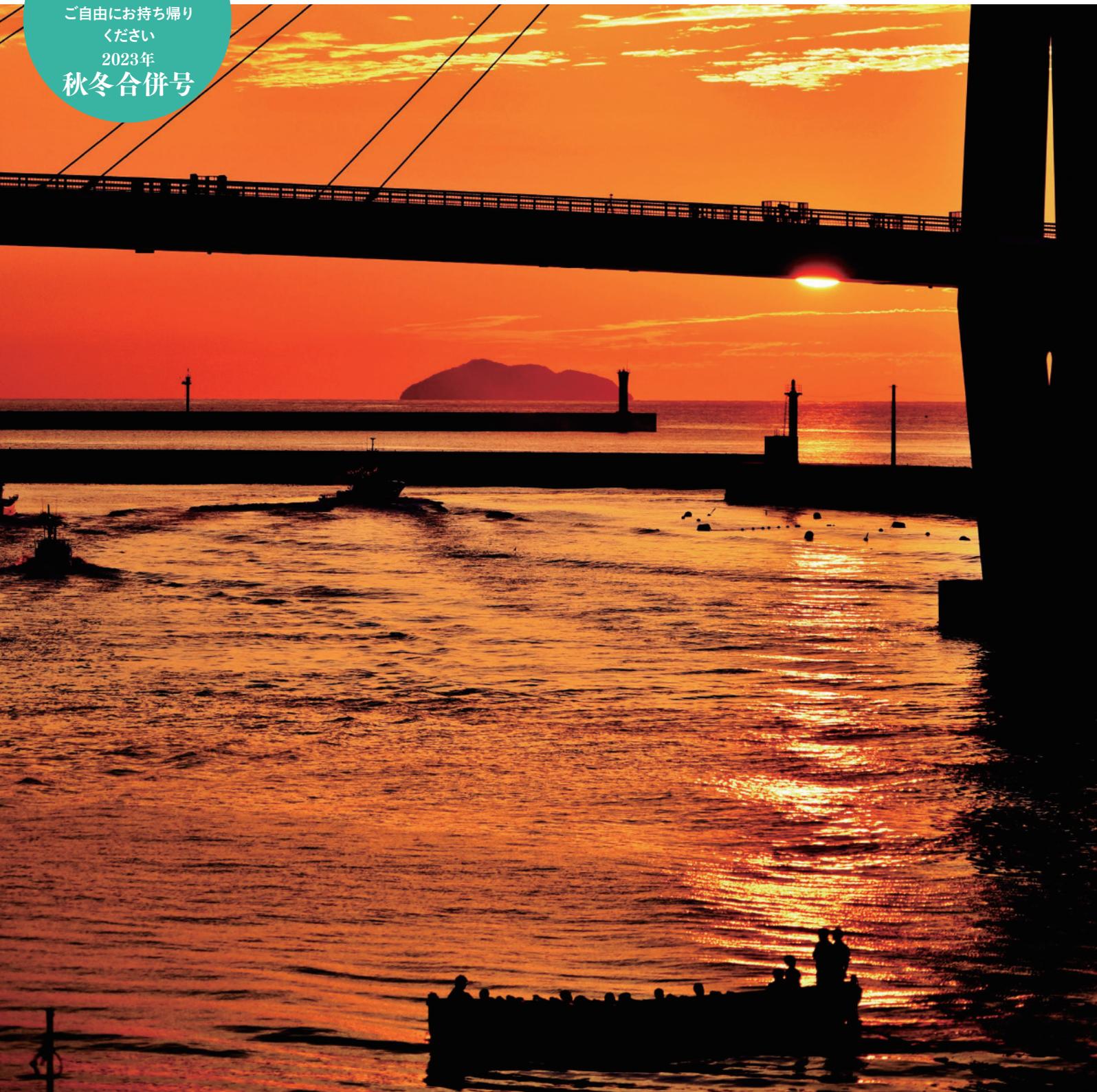
病棟紹介:アドバンス助産師

看護学校だより

入院・退院 サポートコーナーの紹介

冬の特別メニュー

がん相談支援センターだより
HAMADAプログラム



浜田医療センターの理念

医療を通じて

「地域で生きる」を

支援する

基本方針

1. 安全で良質な医療の提供
2. 患者に寄り添った医療
3. 介護、福祉との連携
4. 地域の町づくりに貢献
5. 地域住民と職員の健康増進
6. 持続可能な健全経営

患者さんの権利

- ・ 人格・価値観が尊重される権利
- ・ 良質な医療を受ける権利
- ・ 十分な説明と情報を得る権利
- ・ 自己決定の権利
- ・ 個人情報を守られる権利

当院を身近に知っていただくため公式ホームページ及び公式 facebook を作成しています。一度ご覧ください。

ホームページ

<https://hamada.hosp.go.jp/>



facebook

<https://www.facebook.com/hamadamedicalcenter>



🔍 浜田医療センター で検索！



中四国MIST研究発表

浜田医療センター整形外科医師 大畑 康明

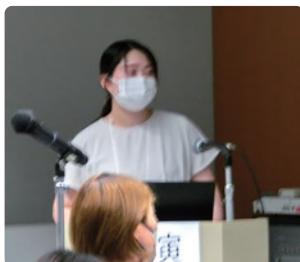
浜田医療センター整形外科の大畑康明です。本年7月29日に松江市で開かれまして「第11回中四国MIST(最小侵襲脊椎治療)研究会」に参加し、症例発表の機会をいただきましたので広報誌の場をお借りして報告させていただきます。

MISTとは最小侵襲脊椎治療の略語です。近年、手術治療では低侵襲と言われる体への負担の少ない手術治療が広まっている中で、負担の大きい手術と思われる脊椎手術を、可能な限り低侵襲にして最大限の効果を得る治療手技、それがMISTです。当院整形外科の部長である柿丸裕之がこの度の第11回中四国MIST研究会の当番世話人として本研究会を開催しました。

研究会には中四国各県、遠くは福岡県から、医師、看護師、放射線技師、リハビリテーションなど脊椎治療に携わる多くの職種の方々に参加し、猛暑の中でしたが総勢100名が参加しました。内容は、医師による脊椎治療についての演題発表、看護師の演題発表、エキスパートによる教育研修講演、脊椎手術に用いる手術機械のハンズオンセミナーなど、内容豊富な研究会でした。多くの医療関係の学会、研究会がある中で、これほど多職種が集まる研究会は珍しく、大変有意義で貴重な会であったと思います。

当院からは私と手術室看護師の石田和美さんが演題発表を行いました。私は、「最近経験した脊椎外傷の2例」と題して症例報告を行いました。他院から紹介受診した第5頸椎脱臼骨折の症例と下肢麻痺を伴った頸椎胸椎の症例について報告し、質疑応答を行いました。他病院の先生から治療内容に関して鋭い質問を投げかけられ、返答に大変緊張しました。多くの先生方の前で発表し質疑応答することは貴重な経験であり、発表の準備や想定質問に対する勉強なども必要で、大変勉強になりました。手術室の石田看護師さんは「脊椎手術におけるベンシーツカウムの実際」と題して、脊椎手術で実際に看護師が実践している工夫を発表しました。参加者や司会の先生の質問に堂々と応答しており、とても頼もしく思いました。

私も石田さんも優秀演題賞は逃しましたが、このような研究会に参加し、演題発表という経験をし、最新の脊椎手術について学ぶことができました。また、他県の先生方と交流ができ、とても有意義な機会でした。今後も積極的に学会参加を行って自己研鑽に努め、地域に貢献できる医師になりたいと思います。



石田 和美看護師



質疑応答する大畑医師



当番世話人を務めた柿丸医師

contents

- 2 中四国MIST研究発表
- 3~4 学会発表
- 5 市民公開講座の再開!
- 6 1日看護体験・新任医師紹介
- 7 病棟紹介:アドバンス助産師
- 8~9 看護学校だより
- 10 入院・退院 サポートコーナーの紹介
- 11 がん相談支援センターだより HAMADAプログラム 冬の特別メニュー
- 12 外来診療担当医表

第11回 国臨協中国四国支部学会

当院健診センター多職種連携業務における 臨床検査技師の業務と課題

臨床検査技師 上野 詩織

令和5年9月3日に岡山国際交流センターで開催された第11回国臨協中国四国支部学会で演題発表を行いました。参加施設で唯一健診施設を併設する病院として、施設紹介とともに、業務における課題と改善案について発表しました。入職後初めての学会発表ということで至らない点も多くありましたが、多くの方々にアドバイスをいただき、無事発表を終えることができました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



日本医療マネジメント学会 第21回島根支部学術集会

診療情報管理士 大野 亜里沙

肺癌手術パスを検証し、リハの追加を提案、追加後の医業収益への効果を発表しました。

一連の取り組みが結果に表れ、大変嬉しく思います。今後も診療情報管理士として有用な提案が出来るよう取り組んでいきます。



集中治療医学会中国・四国支部学術集会

クリティカルケア認定看護師 中田 健

今回私は、集中治療医学会中国・四国支部学術集会で「OJTにおける若手看護師の育成～特定認定看護師として支援した活動の実際～」という演題で、患者の観察やケアを通して、病棟看護師と一緒に実践したことを発表しました。会場からは指導時に心がけていること等について質問を受けました。また、人工呼吸器患者に関するケアセミナーに関わり、救命センターより3名の看護師が参加し刺激を受け実践に繋げていました。今後も臨床での活動等を発表していきたいと思います。



固定チームナーシング研究会第14回中国四国地方会

外来（現地域医療連携室）看護師 荒木 千紘

「乳房セルフチェックの実施率向上を目指して」をテーマに、健診センターで取り組んでいる乳房セルフチェックの指導の取り組みと効果について、発表しました。参加者の方からは、「地域や行政とも協力して実施する必要がある」と意見をもらいました。今回の取り組みでは、指導マニュアルの改訂・個々の状況に応じた指導を行うことによって、乳房のセルフチェック実施のための意識づけはできました。しかし、新しい習慣を身につけ、継続することは困難であると予測されます。今後も指導を継続して行い、実施率の向上を目指していきたいと思います。



第19回中国四国地区国立病院機構 国立療養所 看護研究学会

緩和ケア病棟 看護師 田中 美春

「コロナ禍にある終末期患者とその家族に寄り添う看護について～面会制限に関するアンケート調査を行って～」という演題で発表を行いました。患者さんやご家族に寄り添う中で、不安が表情や態度に出ない方もおられます。どんな人でも不安を抱えていると考え、心配事はないか想いを汲み取り、一緒に考えていく気持ちを伝えることが大切であると感じました。自分たちの看護を振り返る機会となりました。



中国地区消化器内視鏡技師研究会

外来看護師 金高 美香

9月に「中国地区消化器内視鏡技師研究会」が鳥取県で開催され「下部内視鏡検査前処置時の消泡剤の比較」について発表しました。

内視鏡技師とは内視鏡業務のエキスパートを認定する専門資格で、日本消化器内視鏡学会認定試験に合格して内視鏡技師資格を取得しており、当院でも4名の技師が上部・下部消化管内視鏡検査を中心に、粘膜下層剥離術やポリープ切除術などの介助も行っています。内視鏡医が安全かつ円滑に検査・処置を遂行できるように介助をすることはもちろんですが、患者さんが安心して検査を受けていただけるようにする事も大切なことだと考え、日々努力・工夫しています。

日本医療マネジメント学会第21回島根支部学術集会

集中ケア認定看護師 新田 美喜子

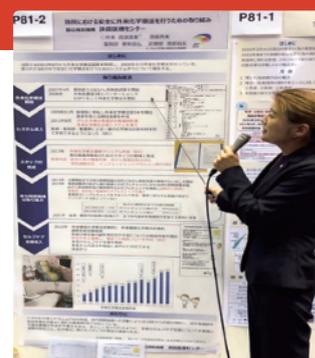
私は、「フィジカルアセスメント研修後のOJTにおける後輩育成の取り組み」についてポスター発表を行いました。私が院内、病棟内で日々の業務の中でどのように計画を立て教育を行い、段階的に知識や技術向上に向けた取り組みをについて、知って頂く機会になりました。他施設とも、どのように進めていくのが効果的か、どこをターゲットに取り組んでいくかなど有意義なディスカッションを行うことができました。



第77回 国立病院総合医学会

がん化学療法看護認定看護師 渡邊 直美

この度、私は、国立病院総合医学会に参加し、「当院における安全に外来化学療法を行うための取り組み」という演題で、外来化学療法の取り組みの経過と今後の課題についてポスター発表をしました。フロアからは帰宅後の患者の副作用対応で救急外来との連携について質問を受けました。システムの導入やマニュアルの作成、待ち時間短縮の活動で2019年から外来化学療法件数は増加しています。今後も、患者が安全に化学療法を受けられるようにかかわっていきたいと思います。



令和5年度 看護部 学会・研修会発表一覧

発表者	所属	演題	発表日	学会名
大屋 絵美	3 北	終末期高齢心不全患者とその家族が納得のいく最期を迎えるための支援	6/23	心不全カンファレンス (島根県立中央病院・ノバルティスファーマ株式会社)
上田 千華	3 北	急性期病棟における心不全患者に対する継続看護	6/24	固定チームナーシング研究会 第24回 島根地方会
荒木 千紜	外 来	乳房セルフチェックの実施率向上を目指して	7/1	固定チームナーシング研究会 第14回中国四国地方会
加藤 理恵	4 南	COVID-19患者の看護を通してのチーム力の向上	7/1	固定チームナーシング研究会 第14回中国四国地方会
石田 和美	O P	脊椎手術におけるベンシーツカウントの実際	7/29	第11回中国四国MIST研究会
中田 健	センター(認定)	OJTにおける若手看護師の育成 ～特定認定看護師として支援した活動の実際～	7/30	日本集中治療医学会 第7回中国・四国支部学術集会
今若 育穂	3 南(認定)	壊死組織を伴うストーマ周囲皮膚潰瘍が治癒した事例	9/9	第19回中国四国地区国立病院機構 国立療養所 看護研究会
前森 陽二郎	3 南	せん妄発症リスクが高い患者へのNEECHAMスケール使用の試み ～チューブ類の自己抜去患者・非自己抜去患者の要因から見える看護とは～	9/9	第19回中国四国地区国立病院機構 国立療養所 看護研究会
横田 有記	5 南	地域包括ケア病棟の他職種とも退院支援に関する 情報共有における課題の明確化	9/9	第19回中国四国地区国立病院機構 国立療養所 看護研究会
田中 美春	緩和 和	コロナ禍にある終末期患者とその家族に寄り添う看護について ～面会制限に関するアンケート調査を行って～	9/9	第19回中国四国地区国立病院機構 国立療養所 看護研究会
金高 美香	外 来	下部内視鏡検査前処置時の消泡剤の比較	9/9	第19回中国地区消化器内視鏡技師研究会
新田 美喜子	3 南(認定)	フィジカルアセスメント研修後のOJTにおける 後輩育成の取り組み	9/30	日本医療マネジメント学会 第21回島根支部学術集会
水野 綾花	緩和(認定)	当院におけるACP(アドバンスケアプランニング)実施の現状と課題	9/30	日本医療マネジメント学会 第21回島根支部学術集会
渡邊 直美	外 来(認定)	当院における安全に外来化学療法を行うための取り組み	10/20	第77回 国立病院総合医学会
板倉 彩	5 北	回復期リハビリテーション病棟における退院支援への取り組み ～退院支援ファイルを活用して～	10/21	第77回 国立病院総合医学会
藤原 拓也	センター	心臓手術後の集中治療体験で生じた記憶のゆがみと対処行動	11/9	第54回 日本看護学会学術集会

市民公開講座の再開!

庶務班長 松生理

新型コロナウイルス感染予防のため、令和2年度より開催を見合わせておりましたが、5類感染症への見直しを契機に令和5年度、再開しました。

久しぶりの開催となったため、市民の皆様にと忘れられて

いるのではないかと不安の中での再開でしたが、たくさんの方にご参加いただき、運営委員一同ほっと胸をなでおろしております。このページでは今年度のこれまでの講座の様子と、今後の予定についてご報告いたします。

第1回 今や国民病…!! ほっとけない脂肪肝の話

7月26日開催 41名参加
講師/診療部長(消化器内科) 古田 晃一郎

国民の3分の1が脂肪肝と言われている現代。脂肪肝が肝臓病、肝硬変へと進行するのを防ぐために、ダイエットや筋トレなど私たちができることを、お話ししました。先生自身も一念発起して毎日のレコーディングダイエットを行いながら、自ら土を運ぶなどしてDIYで自宅の庭を作り上げる作業を通して体重減を達成した、とのことでした。



第2回 心不全パンデミックの到来

9月20日開催 54名参加
講師/循環器内科医長 明石 晋太郎

心不全は感染症ではありませんが、致死率の高い病気であり、全世界共通で増加しているため、現在の状況は「心不全パンデミック」と呼ばれています。

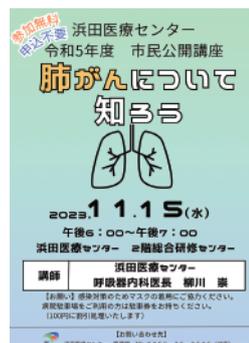
心不全の病態や治療法について解説した後、栄養・体重管理、運動、ストレス管理など、心不全にならないために私たちができること、「自己管理なんて難しい…」と思う前に、毎日1回の体重測定など自分ができそうなことを「やってみる」ことが大事だ、ということをお話ししました。



第3回 肺がんについて知ろう

11月15日開催 20名参加
講師/呼吸器内科医長 柳川 崇

肺がんは、1980年には約2万5000人だった罹患数が、2018年には約12万3000人となっており、現在ではがんの中で亡くなる方が最も多いがんです。そんな怖い肺がんについて、症状、検査法、現在の治療法などについてお話ししました。



これからの予定

第4回 人生会議を始めてみませんか? ～アドバンス・ケア・プランニング～

講師/臨床研究部長(産婦人科)長 小林 正幸
がん相談支援センター 看護師 松岡 悠

日時/令和6年1月17日(水) 午後6時～午後7時
場所/浜田医療センター
2階総合研修センター

将来の医療や介護に備えて、希望する治療やケアの内容を家族と医療関係者が話し合い文書化することで、自分や家族が安心して生活できるようにする取り組みについて、お話しする予定です。ぜひ皆様お誘いあわせの上、お越しください。



1日看護体験を開催!

副看護部長 坂本 栄美子

7月28日(金)に1日看護体験を開催しました。10人の中学生、高校生が参加してくれました。

病院紹介、看護師の仕事についての説明後に、看護体験を実施し、病院見学、意見交換会を行いました。参加者

の「体験を通してもっと看護師になりたいという気持ちが増しました。」という言葉聞き、うれしく思いました。

看護師の活躍の場面は広がっています。今回の看護体験が、将来の夢への第一歩になることを願っています。

看護体験の内容

- 高齢体験
- 車いす、ストレッチャー移送体験
- 手洗いチェック
- 手袋、エプロン、ゴーグル着脱体験
- シーツ交換体験
- 病院見学
(救命救急センター、ヘリポート、緩和ケア病棟)



参加者の看護師の仕事のイメージ

- ・患者さんひとりひとりに寄り添っている。
- ・思っていた以上に体力がいる。
- ・いろんな科でやるのが違って大変そう。
- ・責任を負っているからこそ、みんなで協力しているいい仕事だと思った。

新任医師紹介

- ①出身大学
- ②趣味
- ③浜田医療センターについて〈または一言〉



脳神経外科医師
内村 昌裕
(うちむら・まさひろ)

10月1日採用

- ①島根大学
- ③患者さんに寄り添った丁寧な診療を心掛けます。よろしくお願いします。



産婦人科医師
澤田 希代加
(さわだ・きよか)

10月1日採用

- ①島根大学
- ②登山
- ③地域に貢献できるよう頑張ります。

アドバンス助産師 活躍しています！

4階北病棟副看護師長 アドバンス助産師 若井 紗彩華

「はい、お母さん頑張ってください。上手ですよ。その調子で・・・」「おぎゃー」「おめでとうございます」「元気な男の子ですね」と毎日元気な産声が病棟では聞こえています。当院では、年間約300件の分娩を取り扱っています。

助産師は17名在籍おり、出産をサポートして赤ちゃんを取り上げるだけでなく、妊娠期や出産後の健康指導、乳房ケア、新生児のケアなども担い、妊娠から出産、育児に至るまで、母子の健康を支えています。今回は、アドバンス助産師の紹介をします。

アドバンス助産師とは

アドバンス助産師は、専門的自立能力や実践力のある助産師で、より質の高い助産ケアを提供できる助産師です。

2015年から始まった助産師の能力を認証する資格です。経験年数5年以上が条件で、かつ多岐にわたる研修や講義を受け実施例数を積み重ね認証を受けます。

当院では、現在3名が活躍中です。12月には新たに2名の認証者が誕生予定です。



アドバンス助産師ができること

これまでは自費でしかお受けできなかった乳腺炎のケアが、アドバンス助産師がケアや指導することに限り保険適応となります。褥婦さんは3割自己負担で乳腺炎のケアや指導を受けることができます。

当院でのアドバンス助産師の活躍

当院では病棟に在籍している助産師が毎日産婦人科外来で保健指導や乳房ケア、産後2週間健診等を行なっています。乳腺炎の方が来られた時には、産婦人科医と連携しアドバンス助産師が適切な乳房ケアを提供しています。



また、専門的知識と豊富な経験を活かして新人助産師の教育や指導、毎年受け入れている助産師学生への指導にも深く関わり力を入れています。

アドバンス助産師に期待されること

日本の出生数は年々減少し、この浜田市も同様の経過を辿っています。少子化だけではなく産科医不足は助産師が活躍する医療施設を偏在化させています。産科医の業務負担軽減においてもアドバンス助産師の活躍が期待されています。

また、晩産化により厳重な管理を必要とする妊産褥婦や新生児の増加、社会的に手厚いサポートが必要な育児世帯の増加に伴って更にアドバンス助産師の力が求められています。これからも質の高い助産ケアを提供して地域のお産を守るため助産師一丸となって努力していきます。

助産師大募集！

●助産師(看護師)

時 給 / 1,310円
(1,270円)

勤務部署 / 4階北病棟
(外来)

雇用形態 / 非常勤

時 間 / 週32時間
(8時30分～17時30分の中で調整)

必要資格 / 助産師免許(看護師免許)



私たちと一緒に
働いてみませんか？

その他職種もございますので詳細は
浜田医療センターHPをご覧ください。

HPIはこちらから▶



<https://hamada.hosp.go.jp/profession/recruit.html>

お問い合わせ先

ご希望の方は下記までご連絡ください。

TEL 0855-25-0505
浜田医療センター 給与係長まで



看護学校だより

浜田医療センター附属看護学校(はまかん) <https://hamada.hosp.go.jp/hamakan/>

2023年度 浜看学校祭 - 結兔(ゆいと) - を 開催致しました



令和5年10月7日(土)に学校祭を開催し
1,000名以上の方にご来校頂きました。
キッチンカーやライブステージ、看護体験、
縁日、展示や各種販売、体験など行いました。

学校祭の詳しい内容は
こちらをチェック!



学校祭実行委員より

2年生 大迫 そら、福原 美羽

初めは学校祭運営委員でこの企画で地域の人や学生が楽しめるか、外部の人はどのくらい来ていただけるのか、どのくらい景品やパンフレットが必要なのか見当がつかずとても不安でした。しかし当日は、予想していた以上のお客様が来てくださり驚きとともにうれしかったです。実際に来場して下さった方とお話した際、「思っていたより規模が大きくて楽しめた」や「看護展示をみて看護学生がどんなことをしているのか見ることが出来て面白かったよ」と言ってくれました。アンケートには「様々な工夫があり、看護や学校の様子を知ることができとても楽しかったです」「また来年も祭りをしてほしいです」などのお言葉をいただきました。病院の職員や地域の方々が楽しんでいる姿や、心温まる言葉を頂き嬉しかったです。学生もキッチンカーで色々な美味しい物を食べていたり、縁日を楽しんでいる姿をみて、企画して良かったと感じました。

今年は新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行し、本当に開催できるかどうか手さぐりの状況で準備を進めましたが、会場の感染予防対策も行い無事に終了することができました。

来年はもう少し早くに準備に取り掛かり、さらに楽しく盛り上がる学校祭にしていきたいです。

学校祭に参加して

1年生 大國 みゆき、田平 理子、
稲垣 友菜、玉木 杏

今回の学校祭は私たち1年生にとって初めての経験でした。学校祭の準備から当日まで限られた時間の中で、地域の方にも有意義な時間を過ごせるよう学年の壁を越えて意見を出し合ったり話し合いを重ねたりすることで学生間の団結力を強く感じました。また、改善が必要な点もコミュニケーションを通してそれぞれの企画を学校全体でより良いものにしていく学生の姿勢や出演・協賛して下さる方が多く、私たちの活動を一緒に盛り上げてくださる姿がとても印象的でした。学校祭当日は想像以上に来校者数が多く、学生だけではなく年齢問わず多くの地域の方々の笑顔も見られて私たち自身も嬉しい気持ちになりました。学校生活では、地域の方との交流は多くないため、すれ違ったときに学生に話しかけてくださり、非常に良い機会だったと感じています。また、学校祭を開催するにあたってコロナウイルス感染症の拡大が心配されていましたが、皆様のご協力で感染対策を徹底できたと思います。

今回の経験を通して仲間と一つ一つ乗り越え、今は無事に成功したという達成感があります。来年の学校祭は私たちが中心となるので、今回自分たちが学んだことを発揮できるよう学校の一員として実施していきたいです。

参加者アンケート結果

人気コーナー上位は、「看護スタンプラリー(22%)」、「縁日(20%)」、「舞台演出(18%)」でした。

アンケートでは「子供の血圧測定がよかった」や「おもてなしの気持ちが伝わった」など多くの感想を頂きました。事故や終了後の感染などもなく無事終了できました。関係者の皆様、ご来校頂いた方々に感謝致します。

学校祭の様子



第77回国立病院 総合医学会に参加しました

令和5年10月21日(土)に、シンポジウム『未来を担う看護学生が集い語る地域の特色と看護』で本校の特色である民泊実習や地域を支えていくための学びについて本校の学生がシンポジストとして発表しました。

2年生 三上 知華、倉鋪 彩佳

私たちは「地域・在宅看護論実習で見た地域の実態～中山間地域で暮らす意義と看護職の役割」として、1年次に中山間地域で「民泊実習」を行った体験から学んだことを発表しました。一般の民家に宿泊し、地元で採れた作物と一緒に郷土料理を作り、その土地の文化や風土、大切にしている想いを聞きました。公共交通機関の利便性に欠け、超高齢化が進み、冬季には積雪で外出もままならない地域であっても、家を守りそこで暮らす意味を考えることができました。私たちは、民泊先の方々へ住み慣れた家で暮らし続けてほしいと願い、各家庭の習慣に応じた健康に関する情報を提供しました。このような体験をすることにより地域の中核となる医療センターの存在意義を考え、また受診をする際の困難さを知ることができました。会場から高齢者の運転技術延命講習のメリットに関する質問を受けました。浜田市は移動距離が長く道幅が狭く、見通しのよくない道も多です。そこで高齢運転者の安全を守るために市町村や警察が協力してサポートしていることを伝えました。

看護学生として大勢の前で発表する機会をいただき、とても貴重な体験をすることが出来ました。



2年生 知念 陽菜

医学会で看護学生のシンポジウムを聴講し、学内では気づくことのできない学びもあり、視野を広げるきっかけとなった。

地域・在宅看護はすべての人が対象であるが、浜田市では高齢者に着目することが多いように感じる。

呉市では急な坂道の多い地域で暮らす高齢者に焦点を当てて地域の行事に参加したこと、都市部では酒造生産量が全国1位、生活習慣病・人工透析患者が多いことに着目して健康教育を実施したこと、地域の特性に応じた看護学生の活動報告を聞くことができた。その地域で暮らす人々を支えるための方策について考えていく必要があることを学んだ。シンポジウムを聴講し、これからも地域の特性に応じて、対象のライフスタイルや生活背景を理解して看護に繋げていきたいと考える。また、地域を支える多職種の意見を取り入れることで、さらに学びを深めていきたいと感じた。

「地域医療に関して」 2学年合同発表会の授業を行いました

3年生 園山 真美、藤井 えみ

カリキュラムが違う2・3年生がそれぞれの在宅実習場所で学んだことを発表したことで、お互いに学べなかった内容も学ぶことができました。実習を通じて、在宅では高齢者の生活環境や生活背景に着目した関わりが大切であると実感しました。

そして、在宅医療を支える為に多職種で連携し合う重要性が分かりました。これから高齢化が進み在宅医療が必要とされる場面が多くなるため、実習や合同発表会で学んだことをこれからの実習や臨床の場面で生かしていきたいです。

多くの地域医療、福祉施設の方に参加して頂きました。学生の学びを支えて頂き感謝いたします。



入院・退院 サポートコーナーの紹介

入退院支援看護師 三澤 綾



入院・退院サポートコーナーでは、患者さんが安心して治療を受け、快適な入院生活を送られるよう看護師が入院についての説明を行っています。

また、入院前の生活の様子をお聞きし治療後に安心して退院後の生活が迎えられるよう支援していきます。



入院と聞くと不安や心配なことがたくさんありませんか？

このような不安や心配ごとが少しでも緩和できるよう支援を行っています

入院・退院サポートでの説明内容

- 入院時の必要物品
(入院セット、腹帯、おむつなど)
- 入院時の提出書類の説明、書き方
- 入院中の治療計画
- 高額療養費制度などの入院費用に関すること
- 各種公費負担手続きについて など

入院・退院サポートでの確認内容

- 入院・治療・退院後の生活についての不安や疑問
- 入院前の日常生活状況
(日常生活にどのような介護を必要としているかなど)
- ご家族について (緊急連絡先等) など

入退院サポートコーナーで確認した内容は、
入院から退院後の生活に必要な支援が
入院早期から円滑に受けられるよう、
多職種と情報共有を行い対応していきます

※ご利用については入院決定後、外来看護師がご案内します。お気軽にご相談ください。



冬の特別メニュー

栄養管理室

入院されている皆様の食事サービス向上のため、特別メニューとして趣向を凝らしたお料理をご用意させていただいております。

お料理の内容は、旬の食材や地元の特産品を使用し、季節の味わえる内容に仕上げ、御品書きには、使用している食材の栄養成分についてや、それぞれの料理に込めた思いを添えさせていただいております。

季節ごとにメニューを更新し、旬の食材をはじめ、注目を集めている食材や調理法を取り入れていきたいと思っております。ぜひ一度お試しください。

特別メニューは

- 実施日 夕食 曜日ごとに病棟交代
 ㊦ 3北・3南 ㊧ 4北・4南
 ㊨ 5北・5南・緩和
- 対象 並菜の患者さん
 ※先着5名様まで(アレルギー等の対応はできません)
- 料金 別途1,000円(税込み)いただきます。

※主治医の許可が必要なためお断りする場合がありますのでご了承ください。
※1/1、1/3、2/3、3/3、7/7、9月第三月曜日、12/24は除きます。



献立

- ビーフシチュー
- 鯛のアクアパッツァ
- パン盛り合わせ
- かぶのサラダ
- ケーキ盛り合わせ



がん相談支援センターだより

HAMADAプログラム

がん相談支援センター がん専門相談員 松岡 悠



膵臓がんは、医学の進歩により生存率は高くなっているものの早期発見が難しく、手術ができない状態が見つかることの多い難治性のがんと言われています。島根県では、膵臓がんに罹る患者さんが多いという統計もあります。がんによる痛みや不安が強いこともあり、安心して日常生活を送るためのケアが大切となります。

そのため、浜田医療センターでは、2019年より切除不能な膵臓がんの患者さんを対象に早期から多職種の支援を受けることができる「HAMADAプログラム」が開始となり、約40人のサポートを行ってきました。

医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、ソーシャルワーカーなどの多職種による患者さんへのサポートチームです。それぞれの職種が専門性を活かし、よりよい治療やケアに繋げることで安心して日常生活を送られるようにすることを目標としたプログラムです。また、主治医以外にも顔なじみの医療従事者へ困ったときに患者さん・ご家族からも相談しやすくなるというもの

メリットです。外来の待ち時間や入院時を利用して、HAMADAプログラムのスタッフが患者さんやご家族と関わり、お話を伺う中で必要なケアを実践し、定期的な医療者ミーティングで不安や症状等の情報共有をしています。

今後も、患者さんの思いを大切にサポートしていきます!



浜田医療センター 外来診療担当医表

令和5年12月1日現在

診療科	診察室	月	火	水	木	金	備考
総合診療科	初診	大國 典子	矢野 悠介 ^{※1}	北條 宣政	宮島 伸枝	松田 花子	※1 予約のみ
	再診	—	松田 花子	—	—	北條 宣政 ^{※1}	
血液内科		—	島根大学より ^{※1} ※2	—	島根大学より ^{※1} ※2	—	※1 初診は紹介患者のみ ※2 診療時間 9:30~
腎臓内科		岩下 裕 ^{※1}	担当医 ^{※2}	担当医 ^{※2}	—	担当医 ^{※2}	※ すべて予約制 ※1 診療時間 9:30~12:30 ※2 紹介患者のみ
特殊外来		シャント外来 ^{※4}	シャント外来 ^{※4}	—	—	—	※3 初診は紹介患者のみ ※4 診療時間 14:00~
内分泌・代謝内科		担当医 [※]	—	—	島根大学より	—	※担当医 矢野 悠介(隔週)・島根大学より(隔週)
呼吸器内科	1診	河角 敬太 ^{※1}	柳川 崇 ^{※1}	特殊検査日 (休診)	柳川 崇 ^{※1}	柳川 崇 ^{※1}	※1 初診は紹介患者のみ ※2 診療場所F11 ※3 診療場所E9
	2診	河野 謙人 ^{※1} ※2	島根大学より ^{※1} ※3	—	河角 敬太 ^{※1} ※3	河野 謙人 ^{※1} ※2	
脳神経内科		—	島根大学より	—	島根大学より ^{※2} ※4	渡邊 達三 ^{※1} ※3	※1 午前のみ ※2 午後のみ ※3 再診のみ ※4 第2木曜のみ
消化器内科	初診	末光 信介	生田 幸広	齋藤 宰	古田 晃一郎	木下 泰仁	
	再診	木下 泰仁	末光 信介	古田 晃一郎	齋藤 宰	生田 幸広	
循環器内科	初診	三浦 重禎 [※]	特殊検査日 (休診)	岡本 高史 [※]	特殊検査日 (休診)	明石晋太郎 [※]	※ 紹介患者のみ
	再診	岡本 高史	—	明石晋太郎	—	三浦 重禎	
午後外来		ペースメーカー外来	—	失神外来	—	三浦 重禎	
小児科	初診	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	※ 外来担当医 瀧川遼・青木萌子・川野早紀子 ※1 (1才以上 診療時間 10:00~) (1才未満 診療時間 13:30~) ※2 (診療時間 13:00~) 完全予約制 ※3 毎月第1・第3水曜日 完全予約制 ※4 毎月第3水曜日 完全予約制
	再診	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
午前予約外来		—	予防接種 ^{※1}	—	—	—	
午後予約外来		フォローアップ外来 (再診)	フォローアップ外来 (再診)	フォローアップ外来 (再診)	フォローアップ外来 (再診)	1か月健診 ^{※2}	
特殊外来		—	—	神経外来 ^{※4}	内分泌外来 ^{※3}	—	
外科	1診	栗栖 泰郎	栗栖 泰郎	原 和志	渡部 裕志	高橋 節	※1 予約のみ ※2 診療時間 9:00~11:00
	2診	—	永井 聡	—	永井 聡 ^{※1}	尾崎 晃太郎 ^{※1}	
午後・特殊外来		—	—	—	ストーマ外来 ^{※2}	—	
乳腺科		吉川 和明 ^{※1}	—	鳥取大学より ^{※1} ※2	—	—	※1 予約のみ ※2 第1・第3・第5水曜日
整形外科	1診	桑田 卓	柿丸 裕之	担当医 ^{※1}	柿丸 裕之 (脊椎外来)	—	※1 初診のみ ※2 隔週火曜日
	2診	青木 伸明	奈須 友裕	—	横山 明美	—	
	3診	—	大畑 康明 [※]	—	—	—	
関節リウマチ外来		—	近藤 正宏 [※]	—	—	—	※ 隔週火曜日 紹介患者のみ
形成外科		担当医 ^{※1} ※2	—	—	—	—	※1 毎月第1・第3水曜日 担当医: 松江日赤医師(診療時間10:30~) ※2 毎月第2・第4・第5水曜日 担当医: 島根大学医師(診療時間 9:30~)
脳神経外科		担当医 ^{※1} ※2	手術日(休診)	木村 麗新 ^{※1}	—	—	※1 初診は紹介患者のみ ※2 担当医: 木村麗新・江田大武・内村昌裕・柴田洋平
呼吸器外科		手術日(休診)	松岡 佑樹	藤田 朋宏 [※]	手術日(休診)	松岡 佑樹	※ 再診のみ
心臓血管外科		白谷 卓	手術日(休診)	徳留 純平	手術日(休診)	白谷 卓	
皮膚科	午前	青野 将太 ^{※1}	青野 将太 ^{※2}	青野 将太 ^{※2}	青野 将太 ^{※1}	特殊検査日 (休診)	※1 診療時間 9:00~11:00 ※2 診療時間 9:00~11:00 診療時間 13:00~15:00 予約のみ
	午後	手術日(休診)	—	—	—	—	
泌尿器科	初診	手術日 (休診)	担当医	担当医	担当医	担当医	
	再診	—	盛谷 直之	盛谷 直之	盛谷 直之	担当医	
産婦人科	1診	小林 正幸	澤田 希代加	菅野 晃輔	澤田 希代加	小林 正幸	※1 診療時間 9:30~11:30 ※2 診療時間 13:00~14:30 ※3 診療時間 13:00~14:30 ※4 診察時間 15:00~15:30 ※5 診療時間 13:30~14:30 ※6 診療時間 13:00~15:00
	2診	澤田 希代加	菅野 晃輔	小林 正幸	菅野 晃輔	菅野 晃輔	
午前予約外来		保健指導 ^{※1}	保健指導 ^{※1}	保健指導 ^{※1}	保健指導 ^{※1}	保健指導 ^{※1}	
午後予約外来		産後2週間健診 ^{※2}	産後2週間健診 ^{※2}	産後2週間健診 ^{※2}	助産師外来 ^{※3}	産後2週間健診 ^{※2}	
		乳房ケア外来 ^{※4}	乳房ケア外来 ^{※4}	乳房ケア外来 ^{※4}	乳房ケア外来 ^{※4}	乳房ケア外来 ^{※4}	
		超音波外来 ^{※5}	—	—	—	産褥外来 ^{※6}	
眼科		井上真知子 ^{※1}	手術日(休診)	井上真知子 [※]	井上真知子	井上真知子	※ 毎週水曜日(診療時間9:00~)
耳鼻咽喉科		鳥取大学より ^{※1}	—	—	—	鳥取大学より ^{※1}	※1 診察時間 8:30~11:00 初診は紹介患者のみ ※2 受付時間 13:00~15:30 診察時間 13:00~15:30
	午後外来	—	—	—	鳥取大学より ^{※2}	—	
放射線科		吉田弘太郎	特殊検査日(休診)	特殊検査日(休診)	特殊検査日(休診)	吉田弘太郎	
緩和ケア外来		—	担当医 [※]	—	—	—	※ 診療時間 13:30~15:00
リハビリテーション科		—	—	—	—	—	入院患者のみ
麻酔科		担当医 [※]	担当医 [※]	—	担当医 [※]	—	※ 診療時間 9:30~ 術前診療のみ
歯科口腔外科		都田絵梨奈 [※]	都田絵梨奈 [※]	手術日	都田絵梨奈 [※]	都田絵梨奈 [※]	※ 初診は紹介患者のみ

診療受付時間／午前8時15分～午前11時00分(再来受付機は午前8時より稼働)

原則予約制

- ★ 紹介状をお持ちの方は地域医療連携室を通して予約をお願いします。
- ★ ご予約がない場合は、来院日に診療が受けられない場合もございますのでご了承ください。

今年ではエルニーニョ現象のため暖冬になると予想されています。しかし、一方で大雪の予想もあるので、みなさん気を付けましょう。(M.H)

表紙／浜田マリン大橋(島根県浜田市)
きれいな夕焼けの景色を見ていると
昔ある映画番組のオープニングが思い出されます。
写真提供／河野 義信(浜田医療センター)

